

平成二十五年 度

皇  
學  
館  
大  
學

# 彼岸に誘う神

ほんじすいじゃく

## 本地垂迹の中世

「本地垂迹」は神仏習合のプロセスの一段階として、日本中世固有の現象と捉えられがちである。しかし、本地垂迹を、不可視の超越神が認知可能な形態を取って現世に出現すること、といった広い意味で理解すれば、こうした事例は古今東西の社会に数多く看取しうる。今回の講演では古代・近世と比較しながら、「中世的」な本地垂迹の特質を明らかにするとともに、その独自性を規定した歴史的・文化的な背景について考えてみたい。

講師 佐藤 弘夫先生

東北大学大学院文学研究科教授

日時 10月24日(木)

午後4時30分～6時

場所 本学231教室(2号館3階)

三重県伊勢市神田久志本町1704番地 皇學館大学内

※駐車場のご用意を致しかねますので、公共交通機関等をご利用ください。

聴講  
無料

申込  
不要

本件に関するお問い合わせは、文学部国史学科研究室(3号館3階、0596-22-6456)まで

史

學  
會

講  
演

會